

- 1 研究者の不正行為と、必ずしもいえないのはどれか。
 - a 捏造（ねつぞう）
 - b 改竄（かいざん）
 - c 剽窃（ひょうせつ）
 - d 利益相反（りえきそうはん）
 - e 著作権侵害（ちよさくけんしんがい）
- 2 流行性角結膜炎について誤っているのはどれか。
 - a アデノウイルスが原因である。
 - b 耳前リンパ節腫脹を認める。
 - c 潜伏期間は1～2日である。
 - d 遷延化することがある。
 - e 流涙をきたす。
- 3 Kaposi水痘様発疹症の病因はどれか。
 - a 水痘・帯状疱疹ウイルス
 - b 単純ヘルペスウイルス
 - c サイトメガロウイルス
 - d ヒトヘルペスウイルス8（HHV-8）
 - e EBウイルス
- 4 死期が迫った患者への対応として誤っているのはどれか。
 - a 患者本人による決定を基本として、終末期医療を進める。
 - b 多専門職種 of 医療従事者から構成される医療チームが対応する。
 - c 患者の意思が変化することに留意し、患者の意思の再確認を行う。
 - d 患者の意思が確認できない場合、家族による患者の推定意思を尊重する。
 - e 患者の家族から積極的安楽死の希望を聴取する。
- 5 聴診の際、ベル型を使用すべき疾患はどれか。
 - a 肺動静脈瘻
 - b 僧帽弁狭窄症
 - c 肺動脈弁狭窄症
 - d 三尖弁閉鎖不全症
 - e 大動脈弁閉鎖不全症
- 6 右上肢運動麻痺をきたす病変部位として正しいのはどれか。
 - a 左前頭葉内側部
 - b 左内包前脚
 - c 左内側毛帯
 - d 左上小脳脚
 - e 右脊髄前角
- 7 「下垂手」を示す神経麻痺はどれか。
 - a 橈骨神経
 - b 腋窩神経
 - c 尺骨神経
 - d 前骨間神経
 - e 後骨間神経
- 8 正しいのはどれか。
 - a 外的妥当性とは論文の内容がエビデンスとして用いられる際の妥当性のことである。
 - b 観察研究は介入研究より強いエビデンスを得ることができる。
 - c アウトカムにはQOL等の患者側から申告されたものも含まれる。
 - d 交絡バイアスは情報バイアスの一種である。
 - e 診療ガイドラインは一次情報に含まれる。
- 9 次のうち正しいのはどれか。
 - a 腎臓の触診は両手で捕獲するようにはさみこみ、上極が呼吸とともに動くのを触れる。
 - b 上眼瞼が下垂して瞳孔にかかっている場合は、病的な眼瞼下垂と判断する。
 - c 上腕の血圧測定においては上腕を肩の高さに保ち、測定する。
 - d 診察時に泣きやまない幼児には、お菓子を与えて泣きやむのを待つ。
 - e 健康人において収縮期血圧は下肢よりも上肢が高い。
- 10 SOAP形式のPに該当するものはどれか。
 - a 患者の訴え
 - b 検査結果
 - c 考察
 - d 処方
 - e 診察所見

11 保険診療における禁煙支援について正しいのはどれか。

- a 呼気一酸化炭素濃度測定は必須項目ではない。
- b 保険診療における禁煙診療期間は、16週間である。
- c 妊産婦の禁煙希望者には、ニコチンパッチの適応がある。
- d 我が国で使用される禁煙補助薬にはニコチンを含まないものがある。
- e すべての医療機関は申請をすれば、禁煙治療を医療保険で実施することができる。

12 25歳の女性。発作性の拍動性頭痛を左前頭部に認める。持続時間は約24時間。嘔吐・光過敏も合併し、動作で著しい増悪を認める。このような発作が月に3回程度出現する。頭部MRIでは異常所見を認めない。

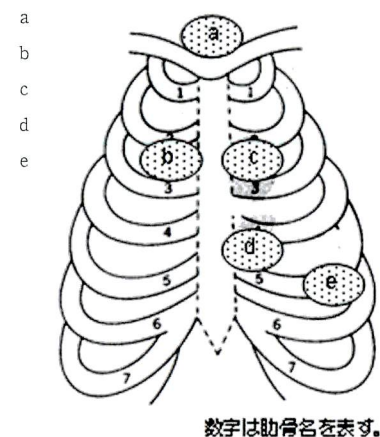
発作時の治療法はどれか。

- a 100%酸素を15分間吸入
- b スマトリプタン皮下注射
- c ヒドロコチゾン静注
- d アトロピン皮下注射
- e カフェイン内服

13 腰椎穿刺の際に使用しない物品・装置はどれか。

- a 局所麻酔薬
- b 滅菌穴あきシーツ
- c 超音波エコー装置
- d 圧測定用ガラス棒
- e ルンバル針（穿刺針）

14 僧帽弁狭窄症での拡張期ランブルが聴取しやすい部位は図中のどこか。



15 腹部の診察について正しいのはどれか。

- a 聴診はベル型聴診器で行う。
- b 打診と触診は両膝を屈曲して行う。
- c 疼痛の強い場所の触診は最初に行う。
- d 視診→打診→触診→聴診の順番で行う。
- e 緊急の場合には同意なしで直腸診を行う。

16 拡張末期に聴取される心音はどれか。

- a 僧帽弁クリック音
- b 僧帽弁解放音（opening snap）
- c 第Ⅲ音
- d 第Ⅳ音
- e 大動脈弁駆出音

17 68歳の男性。喫煙は 30 本/日を20年間。5年前に一過性脳虚血発作と閉塞性動脈硬化症で入院し再三にわたって禁煙指導を受けたが禁煙できないまま経過している。朝目覚めればまずタバコを吸い、長時間タバコが吸えないとイライラ感を覚え、病気で寝込んでもタバコを吸わずにはいられない。

今回は妻がうるさく禁煙を勧めるため、やむなく禁煙外来を受診した。外来で禁煙意思を確認したが、本人は禁煙するつもりはない。

本診察時において正しいのはどれか。

- a まず禁煙開始する日を設定する。
- b 「禁煙が無理なら、まず本数を減らしなさい。」と指導する。
- c 呼気中一酸化炭素濃度測定でニコチン依存度を判定する。
- d 妻の受動喫煙による健康被害について説明するのは禁煙に逆効果である。
- e ニコチン代替療法の適応ではない。

18 75歳の男性。これまで健康診断を受けたことはない。1 か月前より全身倦怠感、食欲低下、両下肢に浮腫が出現し来院。身長 165 cm、体重 62 kg。意識は清明。体温 36.5 ℃。脈拍 68/分、整。血圧 152/85 mmHg、胸腹部に異常なし。両下肢に浮腫を認める。尿所見：蛋白 2+、糖（-）、潜血（-）。血清生化学所見：尿素窒素 86 mg/dl、クレアチニン 7.5 mg/dl。

診断に有用な検査はどれか。

- a 腹部造影CT
- b 腹部血管造影
- c 静脈性尿路造影
- d 腹部超音波検査
- e 腹部エックス線撮影

19 38歳の男性。A 病院での入院加療中に中心静脈栄養管理のため、右鎖骨下静脈からのカテーテル挿入処置を受けた。その際、気胸をおこした。この病院では、病院の機能評価を受けている。患者は、気胸に対する治療を受け、重篤な後遺症もなく退院した。

退院時にB医師は、処方を読み、通常の3倍の量の抗菌薬を処方し、病院内の薬剤師も誤りに気がつかなかった。患者は、外来処方箋を持って、C調剤薬局を訪れた際、薬剤師が、処方の誤りに気づいた。

この事例について正しいのはどれか。

- a A 病院は、B 医師に対し1年間の医業停止を命ずる。
- b A 病院は、気胸をおこした事実を、警察に報告する。
- c A 病院は、病院内に医療安全を検討する委員会を設置する。
- d A 病院は、B 医師が処方を読んだことを、厚生労働省に報告する。
- e C 調剤薬局では、インシデントとして認識し、B 医師に報告する必要はない。

20 45歳の男性。工作中、高温のプレス機に両前腕を挟まれて受傷した。最も優先度の低い検査はどれか。

- a エックス線検査
- b 筋組織内圧の測定
- c 熱傷の重症度判定
- d 神経伝達速度の測定
- e 血中筋原性酵素の測定

21 52歳の男性。左肩関節痛を主訴に来院した。夜間痛を認め、疼痛のため左上肢の挙上制限されていた。肩関節エックス線撮影、MRIでは異常を認めない。

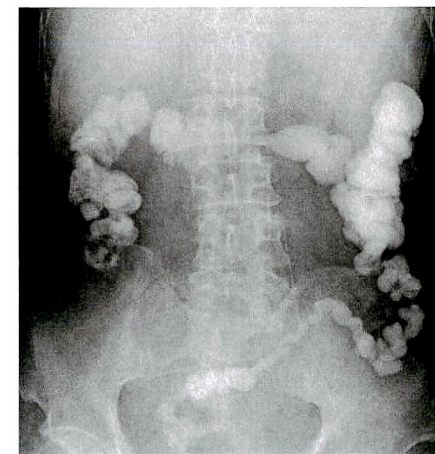
考えられる疾患はどれか。

- a 転移性骨腫瘍
- b 肩関節周囲炎
- c 石灰沈着性腱炎
- d 化膿性肩関節炎
- e 反復性肩関節脱臼

22 85歳の男性。脳梗塞にて入院中。中心静脈栄養のため、左鼠径部大腿静脈からカテーテルを挿入した。カテーテルの挿入時には特に抵抗なく、点滴液の滴下も良好であった。翌日から左背部痛を訴える。カテーテル挿入直後の背臥位腹部エックス線撮影を示す。

次に行うことはどれか。

- a 立位腹部単純撮影
- b 腰椎MRI
- c 腹部造影CT
- d 左下肢超音波検査
- e カテーテルの抜去



背臥位腹部エックス線撮影

23 62歳の男性。意識障害で救急外来に搬送された。呼吸が無く、脈拍触知しなかったためすぐに心肺蘇生を開始した。心電図をモニターしたところ、心室細動であった。

まず行なうことはどれか。

- a 気管内挿管を行なう。
- b 静脈路確保を行なう。
- c 除細動を行なう。
- d ペーシングを行なう。
- e 回復体位にする。

24 48歳の男性。部長に昇進してから「仕事が増えてつらい」と周囲に話していた。次第に意欲低下、早朝覚醒などが出現した。家族が気晴らしに趣味のゴルフを勧めたが「楽しめない」と話した。希死念慮も出現したため受診した。神経学的所見、血液所見、血液生化学所見、脳波、頭部単純CTは異常を認めない。

この患者への心理・社会的側面への配慮として適切なのはどれか。

- a 産業医と面接をしたうえで、改めて受診するようアドバイスする。
- b 休職など勤務の見直しについて相談する。
- c 気の持ちようでなんとかできると励ます。
- d 自殺を考えるなんてとんでもないと叱る。
- e 患者に病名を告知しない。

25 68歳の女性。横断歩道を歩行中に貨物自動車にはねられ、救急搬送された。意識はJCS 300。身長 155 cm、体重 50 kg。体温 36.8 ℃。呼吸数 24/分。脈拍 90/分、整。血圧 166/98 mmHg。頭部CTで急性硬膜外出血と診断され、直ちに開頭血腫除去術が施行されたが、意識は回復せず3日後に死亡した。

救急担当医の対応として正しいのはどれか。

- a 都道府県知事に届け出る。
- b 死体検案書を発行する。
- c 死亡診断書を発行する。
- d 所轄警察署に届け出る。
- e 保健所に届け出る。

26 45歳の男性。健康診断にてAST 40 IU/l、ALT 68 IU/lと異常を指摘されたため来院した。その他の肝機能検査に異常を認めなかった。腹部超音波所見では脂肪肝を認めた。B型とC型肝炎ウイルスは陰性であった。身長 170 cm、体重 76 kg。喫煙は 20 本/日で、飲酒は1週間に缶ビール(350 ml) 1本である。最近は仕事が忙しくて深夜に帰宅後、夕食を摂取している。ここ3か月で体重が6kg増えている。

生活習慣の指導事項として正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 節 煙
- b 禁 酒
- c 食生活の改善
- d 週1回の運動
- e ストレスの解消

次の文を読み、27～28の問いに答えよ。

53歳の男性。2か月前から便秘気味になり下剤を使用していた。便はやや細く、いきまないとでない感じで、時々血液の付着も認めた。2～3日前より腹部膨満感を認め、トイレに行っても便汁が少量出るだけで、腹痛、嘔気も認めるようになったため来院した。

既往歴：特記すべきことなし。

身体所見：身長 168 cm、体重 75 kg。体温 36.9℃、脈拍 92/分、血圧 136/82 mmHg。意識清明、苦悶様。腹部：膨隆、軟。左下腹部に圧痛を認め、金属音を聴取する。

検査所見：血液所見：赤血球 380 万、Hb 9.5 g/dl、Ht 31%、白血球 9,800、血小板 35 万。血液生化学所見：総蛋白 6.7 g/dl、アルブミン 3.6 g/dl、AST 23 IU/l、ALT 25 IU/l、Fe 24 μg/dl、CRP 2.3 mg/dl。

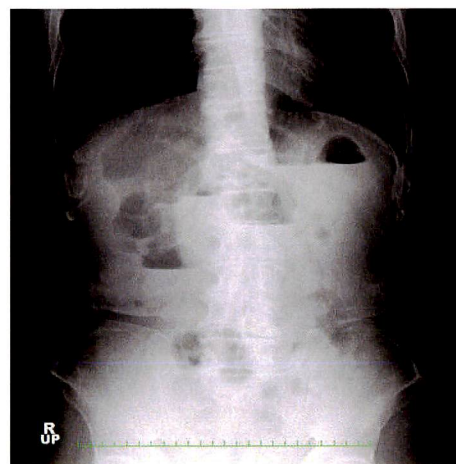
腹部エックス線写真を示す。

27 診断に有用でないのはどれか。

- a 注腸造影
- b 直腸肛門診
- c 便潜血検査
- d 腹部CT検査
- e 腹部超音波検査

28 治療として適切なのはどれか。

- a 内視鏡治療
- b 放射線療法
- c 緊急開腹手術
- d 抗癌化学療法
- e イレウス管挿入



腹部エックス線写真

次の文を読み、29～30の問いに答えよ。

55歳の女性。専業主婦。糖尿病専門外来に10年以上定期通院し、スルフォニル尿素薬およびビグアナイド薬を6年間併用内服しているが、食事療法が遵守出来ず血糖コントロールは不良である。自覚症状はない。身長 156 cm、体重 65 kg。脈拍 82/分、整。血圧 142/88 mmHg。心音と呼吸音に異常なし。尿所見：蛋白（-）、糖2+。血液所見：空腹時血糖 164 mg/dl、HbA1c 7.1%（基準 4.3～5.8）、総コレステロール 250 mg/dl、トリグリセライド 180 mg/dl。本日の外来で、この患者から、「私の血糖値は今くらいがちょうどいいと思います」という発言があった。

29 医師の発言として最も適切なのはどれか。

- a 「本日のコレステロールも高いですよ」
- b 「どうしてそのように思うのですか」
- c 「それなら今後もこの外来に通院されますか」
- d 「血糖値が高いと目や腎臓が悪くなるんですよ」
- e 「そんなことはありません。空腹時血糖値は 70～110 mg/dlが正常です」

30 この患者の糖尿病のコントロールをよくするのに、まず最初に行うべきことはどれか。

- a 自分の生活の問題点を振り返らせる。
- b もっと運動してやせるように促す。
- c スルフォニル尿素薬を増量する。
- d 食事療法を厳しく指導する。
- e インスリン療法を勧める。

次の文を読み、31～32の問いに答えよ。

17歳の男子。バイクの自損事故で搬入された。意識状態は救急車内でGCS14から6に低下した。搬入時、意識はGCS 6、血圧 90/62 mmHg、呼吸数 30/分、吸気性喘鳴を聴取。顔面蒼白、四肢の冷感、湿潤を認めた。

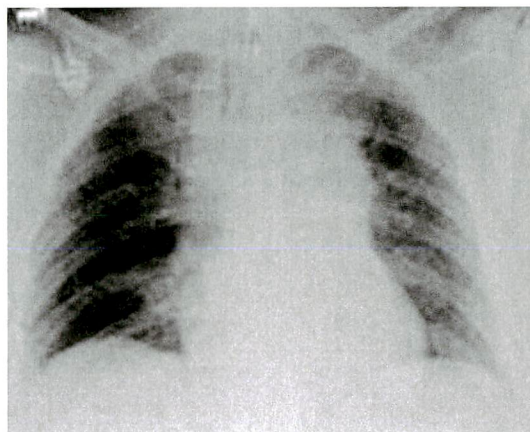
31 まず行うことはどれか。

- a 頭部CT
- b 気管挿管
- c 大量輸液
- d 超音波検査
- e 左胸腔ドレナージ

32 処置によりショック状態から改善、胸部単純エックス線写真所見を示す。

次に行うことはどれが適切か。

- a 造影CT
- b 緊急開胸術
- c 昇圧薬投与
- d ヘパリン投与
- e 胸腔ドレナージ



胸部単純エックス線写真所見